

(中国乙12)

細菌性・アメーバ性赤痢 発生推移

= 2022年05月度 =

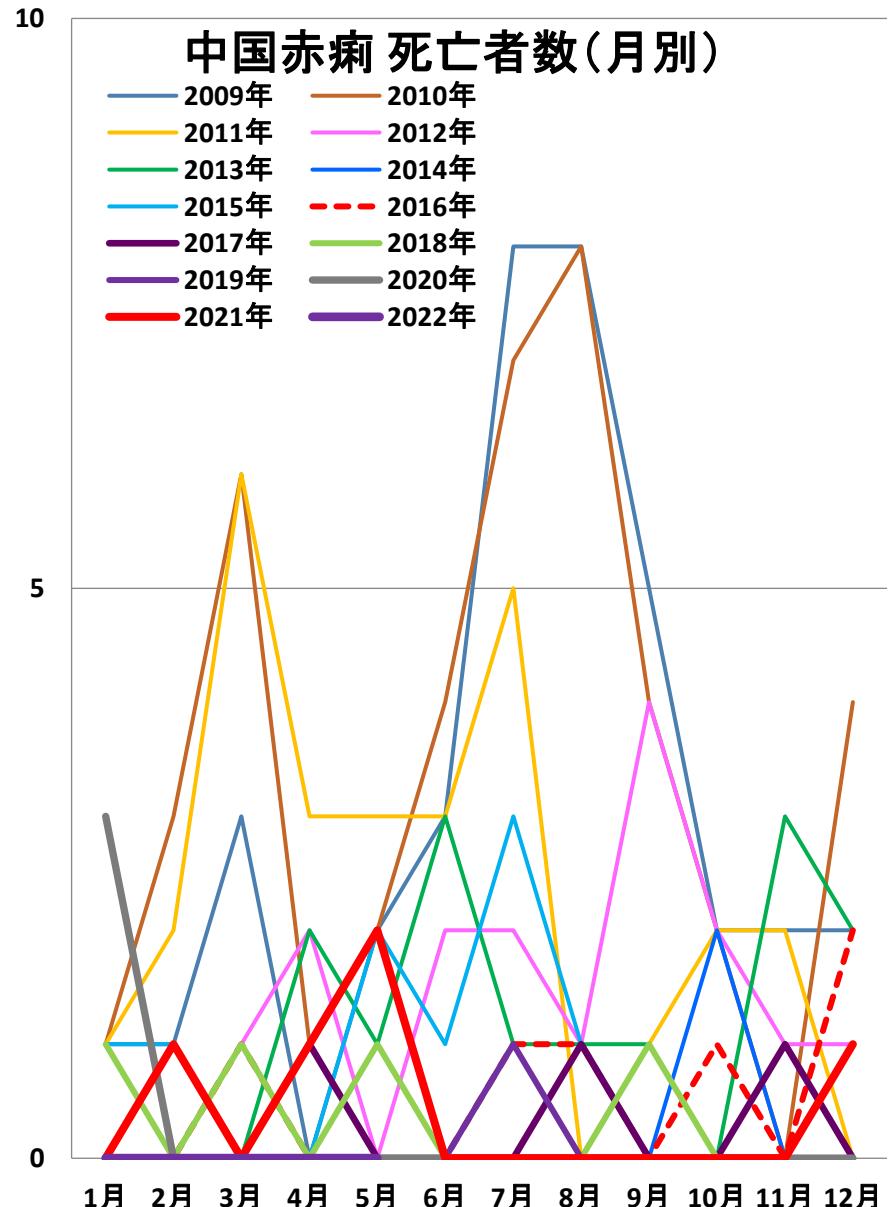
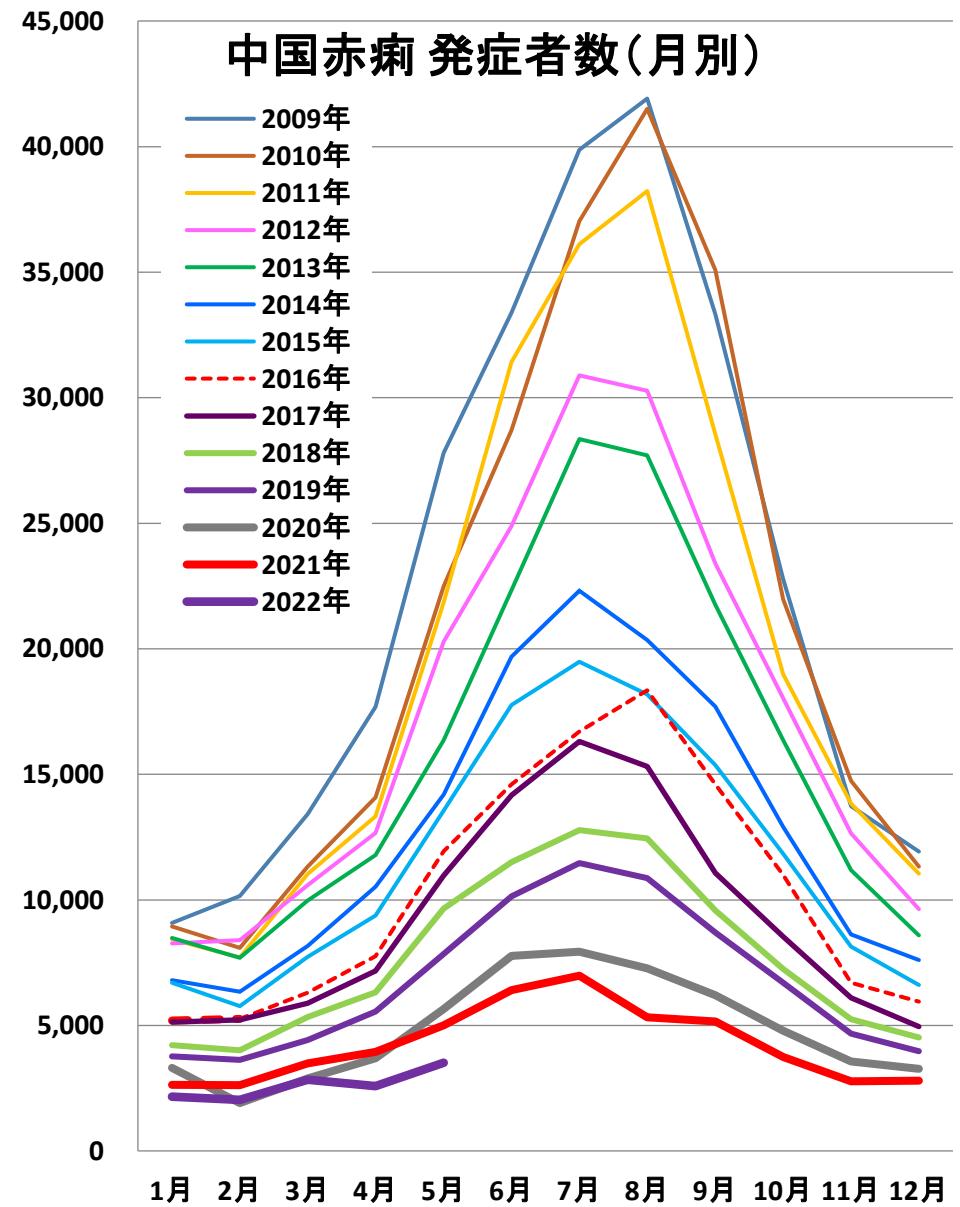
発表:2022年06月30日衛生健康委

作成:2022年07月05日
日中醫療衛生情報研究所

細菌性・アメーバ性赤痢

- 患者発生のピーク期は夏場の7～9月
- 年間患者発生数は、2008年から年々減少しており、
2016年9月から2021年1月まで53カ月連続で
月間発症者数の『過去最低記録』を更新した。
その後、2021年5月からまた過去最低記録を更新中
2015年は、138,917人、
2016年は、123,283人、
2017年は、109,368人、
2018年は、91,152人、
2019年は、81,075人、
2020年は、57,820人だった。コロナの影響？
2021年は、50,403人だった。

乙12：細菌性・アメーバ性赤痢



乙12：細菌性・アメーバ性赤痢

